

青森の魅力再発見

野山が一斉に芽吹く春、花を求めて、心と身体をのびのび、ゆったりさせてみませんか。

県内には、身も心も癒してくれるすてきなスポットが各地にあります。

本格的な復興に向けて新しい一歩を踏み出す、この春、元気を充電する旅にでかけませんか。



菜の花 (横浜町)

約100haに作付けされた菜の花が、あたり一面を黄色に染め上げます。5月20日(日)に開催される菜の花フェスティバルは、マラソン大会や菜の花迷路などで賑わいます。

見頃/5月上旬~下旬
問 / 横浜町役場 ☎0175-78-2111

湯の島カタクリ祭り (青森市 浅虫温泉)

標高132mの湯の島に船で渡り、淡い紫色の可憐な花を眺めることができます。海水浴場船着場から乗船、片道約5分

会 期/4月7日(土)~22日(日)
案内時間/9:00~15:00
渡 船 料/往復1,000円(小学生500円、幼児無料)
問 / (社)青森観光コンベンション協会浅虫支部 ☎017-752-3250



梵珠山 (青森市 浪岡)

標高468mの梵珠山は、ブナ林に覆われた自然豊かな「いこいの森」です。梵珠山という山名も釈迦三尊仏のうちの文殊菩薩の名から名付けられたと伝えられています。山頂には、釈迦堂が建てられ、旧暦7月9日には御灯明(火の玉)が出現すると伝えられています。

問 / 浪岡観光協会 ☎0172-62-2511



北限の梅林 (五所川原市 津軽フラワーセンター)

標高142mの小高い山にある園内には約2千本の梅林があり、新緑とともに梅の花が咲き誇ります。

見頃/4月下旬~5月上旬
問 / 五所川原市商工観光課 ☎0173-35-2111



千畳敷 (深浦町 北金ヶ沢)

1792年(寛政4年)の地震により隆起してできた岩床の海岸です。津軽藩の殿様が、千畳の畳を敷いて酒宴を催したと伝えられています。

問 / 深浦町観光課 ☎0173-74-2111



岩木山・岩木山神社 (弘前市 百沢)

岩木山は、標高1,625mと県内で一番高い山です。「津軽富士」とも呼ばれ、津軽の人々の信仰の山となっています。山麓にある岩木山神社は、創建1200年余の歴史を持つ古社です。岩木山を望む鳥居から杉木立に囲まれた参道を奥に進むと、「奥の日光」と呼ばれる、重厚で秀麗な社殿があります。

問 / 岩木山神社 ☎0172-83-2135



世界一の桜並木 (弘前市 百沢~常盤野)

岩木山麓、県道嶽・鱒ヶ沢線沿いに、約6,500本のオオヤマザクラの並木が全長20kmにわたり続きます。桜の見頃に合わせて咲くミスバショウも、岩木山に春の訪れを告げます。

見頃/4月下旬~5月上旬
問 / 岩木山観光協会 ☎0172-83-3000



三戸春まつり (三戸城跡・県立城山公園)

南部氏の居城跡で、県南随一の桜の名所です。公園内には、南部氏の歴史資料を展示している天守閣風の建物三戸城温故館のほか、町立歴史民俗資料館があります。

見頃/4月下旬~5月上旬
問 / 三戸町総務課 ☎0179-20-1117



春もみじ (十和田湖・奥入瀬渓流)

春の訪れとともに、野山の木々が色とりどりに一斉に芽吹く「春もみじ」。早春の十和田湖・奥入瀬渓流は森の生命が輝き始める季節です。

見頃/5月中旬~
問 / 十和田湖総合案内所 ☎0176-75-2425



十和田神社占い場 (十和田湖畔)

十和田湖畔の十和田神社奥の湖岸に占い場があります。ここで、紙に願いを込めてこよりを作り、沈めば願いが叶うと言われています。休屋発着の遊覧船の船上から祈願することができます。

問 / 十和田湖総合案内所 ☎0176-75-2425



燕嶋神社 (八戸市 鮫町鮫)

種差海岸の北の玄関口に位置する燕島の頂にあり、弁財天を奉っています。ウミネコの繁殖期にフンを付けられると「会運証明書」が社務所からもらえます。

問 / 八戸市観光課 ☎0178-46-4040



桜まつり情報などはこちらから「青森県観光情報サイト」